

ダイアンサス アイディールセレクト・シリーズ ダイアンサス フローラルレース・シリーズ

アイディールは揃いのよさが、またフローラルレースは大輪花が特長のシリーズ。
需要に応じてご利用いただけます

アイディールセレクト・シリーズ

- アイディールセレクト/ダイアンサス - マーケットで重視されるキーカラーとなる花色をすべて網羅。品種間の性質が良く揃い、開花差の少ないシリーズです
- 品種間の揃いが良いので、生産計画を立てやすい利点があります。顧客サイドの要望に応じて、シリーズから全色あるいは必要な花色を、鉢上げから出荷まで同じタイミングで行うことが可能です
- 造園などでのパフォーマンスの高さはすでに定評があり、造園の顧客や一般の消費者に対して、株もちのよさと高い満足をお届けいたします
- 客観的な評価として、アイディールセレクト・バイオレットはオールアメリカ・セレクションズのクラシックアワードウィナーを、またアイディールセレクト・ローズではフローロセレクトのクオリティマークを受賞しております
- 現在、ラズベリー、レッド、ローズ、サーモン、バイオレット、ホワイト、印象的なバイカラー種のホワイトファイア、そしてミックスの各品種をご利用いただけます

フローラルレース・シリーズ

- フローラルレース・シリーズは、種間交雑系統のダイアンサスの中では最も大輪の花を咲かせ、最も広い花色幅をもっていることが特長です
- 明るく美しい花色ラインに加え、ユニークなバイカラー品種を有し、造園事業などから求められる顧客の需要にしっかりと対応いたします
- フローラルレースは、矮化剤の処理や秋出荷に際しての高温ストレスにも強く、小売店に出荷された後も比較的大きな花径サイズを維持します

学名: *D. barbatus interspecific*

種子粒数の目安: 1,200 から 2,500 粒/グラム

※アイディールセレクト・シリーズ、フローラルレース・シリーズともに

プラグ生産

プラグトレイサイズ

406 穴(あるいはそれ前後)が最も利用しやすいサイズ

播種

育苗には、水はけがよく未使用の培地を用いる。pH は 5.8 から 6.2、また EC は 0.75mmhos/cm で管理する。播種の後、粗めのパーミキュライトでふつうの厚さで覆土する。発芽は概ね 3、4 日である

育苗温度

発芽段階: 18 から 20°C
子葉発生段階: 昼間: 18 から 21°C 夜間: 15°C
本葉展開段階: 昼間: 15°C 夜間: 13°C

光条件

発芽時には光が必要

育苗時の水分

発芽から子葉が展開するまでは、相対湿度を 95 から 97% で維持する

肥料

ステージ 3 の段階から開始し、50ppm(N)の濃度で週に 2 回施肥を行う。1 週後に窒素濃度を 100ppm にまで上げて、このプログラムを育苗終了まで続ける。培地の EC は 0.5 から 0.75mmhos/cm を維持するが、ステージ 3 の終わりから 4 の段階では 1.0mmhos/cm にまで上げる。pH は一貫して 5.8 から 6.2 を維持する

PGR(矮化処理剤)

苗の色づきを整えるため、3 週齢のプラグに 6ppm のボンザイを散布する。処理の回数は 1 回で十分である

プラグ生産期間

406 穴トレイであれば概ね 4、5 週

ポット上げから出荷まで

コンテナサイズ

1本植えの場合は9から10.5cmポット、あるいはカットパックなど。15から20cmのコンテナでは3本定植が妥当

培地(用土)

水はけがよく、ピーと主体の新しい土を使用する。初期の養分は中庸に、またpHは5.8から6.5の範囲とする

温度

昼間: 15から24℃

夜間: 11から15℃

肥料

苗が活着してから、15-15-15のタイプ(あるいはカルシウムベースの汎用肥料)を150ppmで週に2回与える。ダイアンスの生産では、十分なカルシウムを肥料設計に組み込むことが大切

PGR(矮化処理剤)

丈の調節には、ボンザイ20ppmの葉面散布を2,3回が有効である。処理の頻度などは、株の成長の度合いや作型、生産地の環境などを考慮しながら決める。最初の処理は移植後2週が適当で、その後も必要であれば週1回ごとの間隔を目安とする

平均的な生産期間(播種から出荷)

春から夏の生産: 9から10週

秋から早春の生産: 12から13週